

令和5年7月6日

岡山県産業労働部
産業振興課地域産業班
担当：芦田・中村
(内線 5171・5173)
電話：086-226-7352

お知らせ

「自動車関連企業開発人材育成塾」を開催します！

県では、県内自動車関連企業において新技術・製品等の開発企画を推進する人材の育成を図るため、次のとおり「自動車関連企業開発人材育成塾」を開催しますので、お知らせします。

(委託先：公益財団法人岡山県産業振興財団)

なお、本件については、県政記者クラブ及び経済金融記者クラブへ同時にお知らせしています。

記

- 1 名称 「自動車関連企業開発人材育成塾」
- 2 日程 令和5年8月から令和6年2月まで
- 3 開催場所 ピュアリティまきび (岡山市北区下石井 2-6-41) 他
- 4 研修内容 塾形式の計画的なカリキュラムの中で、企画アイデアとロードマップ、量産設計や設計 VE など、開発設計のノウハウを学ぶ
(座学研修6回、実地研修3回)
※ 実施内容、実施スケジュール、実施場所等の詳細は別紙のとおり。
- 5 対象者 県内の自動車産業に従事する中堅社員
- 6 定員 10名程度
- 7 参加費 6,600円(税込)／名 ※別途、実費負担有
- 8 申込期間 令和5年7月6日(木)～8月21日(月)
- 9 申込方法 下記 URL の申込フォームまたは、QRコードよりお申込みください。

(URL)

https://www.optic.or.jp/okayamassn/event_detail/index/2957.html

(事務局)

公益財団法人岡山県産業振興財団

ものづくり支援部 研究開発支援課 担当：田口・入江・小森

TEL：086-286-9651 FAX：086-286-9676 E-mail: jidousya@optic.or.jp



令和5年度 自動車関連企業開発人材育成塾

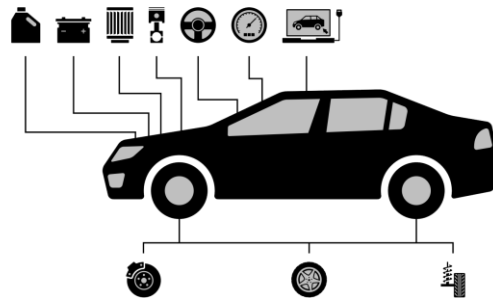
自動車業界は、EVシフトの急速な進展や、カーボンニュートラルへの対応など、業界を取り巻く環境の変化に晒されています。

こうした状況の中、県内企業においては、新たな技術、製品等をメーカーに提案するために技術力・開発力を高める必要があります。

そこで、本研修では開発手法等を学び、新技術・製品等の開発企画ができる人材を育成します。塾形式の計画的なカリキュラムの中で、企画アイデアとロードマップ、量産設計や設計VEなど、開発設計のノウハウを学びます。

■対象者：県内の自動車産業に従事する中堅社員
(入社5～10年目程度)

※原則、全ての研修にご参加いただけます。



定員：10名程度

受講料：6,600円(税込)/1名

※別途、実費負担有

申込〆切：令和5年8月21日(月)

17:00まで

申込方法：ホームページまたはQRコードによるお申込み

https://www.optic.or.jp/okayamassn/event_detail/index/2957.html

QRコード



全日程

	テーマ	日程	場所
座学研修	第1回 開発するべきものを見極める ～企画アイデアとロードマップ～	令和5年8月29日(火) 10:00～16:00	ピュアリティ まきび
	第2回 優位性を確保する～先行開発とお客様の信頼を得る～量産設計	令和5年9月12日(火) 10:00～16:00	
	第3回 機能とコストの対比により最適な価値の確保を目指す設計VE	令和5年10月25日(水) 10:00～16:00	
	第4回 開発設計のアウトプットを高める～デザインレビュー～	令和5年11月22日(水) 10:00～16:00	
	第5回 過去トラ集を使った、品質問題未然防止活動	令和6年1月18日(木) 10:00～16:00	
	第6回 研修まとめ～構想設計を経験する～	令和6年2月7日(水) 10:00～16:00	
実地研修	第1回 目で見るトヨタ生産方式	令和5年9月25日(月) 13:30～16:00	エイバックス(株) 多度工場・ 桑名先進工場 (三重県)
	第2回 自動車部品のCTスキャナーによる内部観察	令和5年12月5日(火) 10:00～16:35	(株)津島製作所 (京都府)
	第3回 新製品等開発事例	令和6年1月24日(水) 14:00～17:00	(株)浜野製作所 (東京都)

※実地研修の日程については、変更になる可能性があります。

座学研修

第1回 ▶ 開発するべきものを見極める～企画アイデアとロードマップ～

令和5年
8月29日（火）

- 1.新企画アイデアの発想
- 2.アイデアを企画書にまとめる
- 3.未来と繋ぐロードマップ
- 4.グループ討議

第2回 ▶ 優位性を確保する～先行開発とお客様の信頼を得る～量産設計

令和5年
9月12日（火）

- 1.先行開発の位置付け
- 2.先行開発目標達成の取り組み
- 3.開発事例から学ぶ
- 4.先行開発、量産設計に必要な設計力
- 5.量産設計の設計者、職場が備えるべき要素
- 6.グループ討議

第3回 ▶ 機能とコストの対比により最適な価値の確保を目指す設計VE

令和5年
10月25日（水）

- 1.VE活動の背景
- 2.原価管理の活動
- 3.原価計算の進め方
- 4.VE手法の進め方
- 5.VEの具体的な展開
- 6.原価改善の事例
- 7.グループ討議

第4回 ▶ 開発設計のアウトプットを高める～デザインレビュー～

令和5年
11月22日（水）

- 1.デザインレビューの役割
- 2.設計プロセスに取り組み合わせたデザインレビューの位置づけ
- 3.デザインレビューの実施要領
- 4.いろいろな観点からの実施されるDR
- 5.毎日設計とレビューの繰り返し
- 6.グループ討議

第5回 ▶ 過去トラ集を使った、品質問題未然防止活動

令和6年
1月18日（木）

- 1.品質問題をなくすFMEAとDRの考え方
- 2.過去トラの集め方、まとめ方
- 3.使い易い過去トラ集の具体事例
- 4.未然防止の活動事例
- 5.過去トラ集の管理の仕方
- 6.ソフト面の改善事例
- 7.設計品質改善活動の原動力
- 8.グループ討議

第6回 ▶ 研修まとめ～構想設計を経験する～

令和6年
2月7日（水）

- 1.構想設計の題材をグループで構想検討
- 2.構想発表
- 3.修了証書授与

実地研修

第1回 目で見えるトヨタ生産方式

令和5年
9月25日(月)

～「人材育成・品質管理・現場改善・設備保全」ものづくりに欠かせない4つのポイントを学ぶ～

見学先 エイベックス株式会社*1 多度工場・桑名先進工場
(三重県桑名市多度町下野代字谷3503-30)

- 内容**
- ①会社紹介、経営理念等紹介
エイベックス(株) 代表取締役社長 加藤 丈典 氏
 - ②人材育成(4M、改善活動、品質管理活動)について
 - ③工場見学(多度工場及び桑名工場)
 - ④TPS実践活動について
 - ⑤質疑応答



*1 エイベックス株式会社…A/Tパブル、ブレーキ、ミッション、エンジン部品等の自動車関連部品を主要製品とする。高精度小物切削・研削加工を「極める」プロフェッショナル集団として、トヨタスタイルに基づき、長年の経験・ノウハウを活かした考え方を核としている企業。

第2回 自動車部品のCTスキャナーによる内部観察

令和5年
12月5日(火)

～部品内部に潜む品質不良などを判定するための手法と、製品品質の向上技術を学ぶ～

見学先 株式会社島津製作所*2 京都本社
(京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地)

- 内容**
- ①座学研修(X線とは何か、CTの原理原則、法令(届出・特別教育・安全衛生を含む)について)
 - ②グループに分かれて実機研修(SMX-225CT、Xseeker-8000)
 - ③サイエンスプラザ、SCOEラボツアー等見学



*2 株式会社島津製作所…「人の健康」「安心・安全な社会」「産業の発展」の事業領域で、分析機器、計測機器、医用機器、産業機器を取り扱っている。最先端の分析技術で、研究開発・品質管理に貢献し、また精度の高い試験計測技術で産業分野のものづくりを製品検査や品質管理の面からサポートを行っている企業。

第3回 新製品等開発事例

令和6年
1月24日(水)

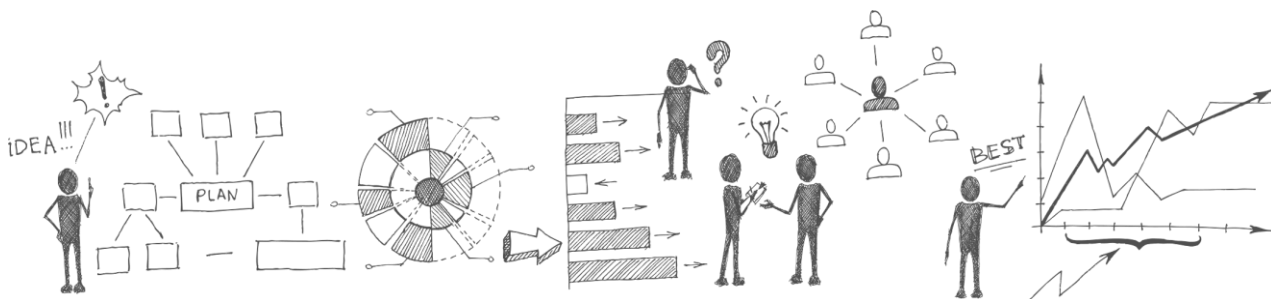
～新製品を開発するために必要なアイデアの企画立案や手法について、事例を通して学ぶ～

見学先 株式会社浜野製作所*3 本社板金工業/Garage Sumida
(東京都墨田区八広4-39-7)

- 内容**
- ①会社紹介、経営理念等紹介
 - ②研究開発事例について
 - ③工場内見学
 - ④質疑応答及び交流会



*3 (株)浜野製作所…創業者の突然の死去に伴う事業承継、社長就任後の工場火災、下請け業の厳しい現実といった困難に直面ながらも、様々なプロジェクトに挑戦し成長してきた町工場・浜野製作所。先代が金属成型工場として創業した同社は現在、設計・開発を行う装置メーカーへとその事業構造を変化させている。



株式会社ワールドテック

【研修1担当】

(株)ワールドテック講師

佐藤 進 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。デバイス事業部の開発部門において多くの半導体開発に従事。

また、企画部門で新デバイス開発構想や事業企画を担当。

04年～09年には「一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBCI)」に出向。

その折、ロードマップ策定委員会事務局に選任され幅広くロードマップに関与。

【略歴】

1971年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社
IC研究室

1973年 (株)日本自動車部品総合研究所出向
電子デバイス・センサーの研究開発

1993年 デバイス事業部 LSIプロセス開発

1998年 デバイス事業部 技術企画
新デバイス長期構想 事業企画

2004年 (株)ナノテクノロジービジネス推進
協議会出向

ロードマップ委員会事務局

2012年 (株)ワールドテック入社
現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修2・4・6担当】

(株)ワールドテック技術担当部長、講師

山田 悦史 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。

長年開発設計部門に在籍し、幾多の新規自動車アクチュエーターの構想設計・詳細設計から量産立ち上げまでを経験し、製品コンセプト構築、品質の確保をはじめとする製品開発設計マネジメントに通じている。

又、ソレノイド、バルブ、ギヤ、モーター、流体ポンプ、半導体圧力センサ等の各種要素技術や、各種金属・樹脂材料の物性について豊富な知見を有している。

【略歴】

1973年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社

1973年 生産技術部 生産技術研究

1978年 機能品技術部 開発設計

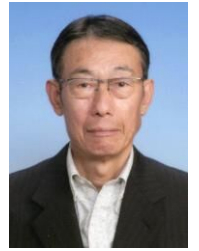
2007年 富士通デン(株)(現デンソーデン) 機構部品統括

2010年 天津富士通デン精密電子(中国天津市) 総経理

2015年 (株)デンソーデン 後進の育成

2018年 ワールドテック入社

現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修3担当】

(株)ワールドテック講師

岡本 邦夫 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。

出向先の日本自動車部品総合研究所にて触媒担体や活性炭素繊維を開発。

(株)デンソーに戻り、空気清浄フィルタの開発・設計や燃料電池関連システムの開発に従事。2005(株)デンソーテクノ (デンソーグループ会社) に出向・転籍し、技術者教育の企画と実践に従事。

【略歴】

<業績>

1995年 自動車技術会発表～車室内空気の清浄化技術～

1996年 SAE国際会議発表～上記関連テーマ～

1996年 自動車工学シリーズ「カーエアコン」共著 山海堂発行

2021年 機械要素の選定・活用ガイド「シール編」 日刊工業新聞社発行

<経歴>

1973年 日本電装(株) (現(株)デンソー)入社

日本自動車部品総合研究所出向

1985年 (株)デンソーフィルター技術部開発

1997年 (株)デンソー開発部

2005年 (株)デンソーテクノ 人材育成

2009年 テクノサポートオーテス設立し、技術者教育に

従事。
(担当分野) ねじ締め、トライボロジー、
表面処理、鉄鋼材料の熱処理、樹脂&
ゴム材料、接合技術(接着剤、溶接)、
シール材、VEと原価管理

2016～2022年

愛知工科大学 非常勤講師

(担当：次世代エネルギー、表面工学)

現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修5担当】

(株)ワールドテック講師

本田 陽広 氏

日本デンソー(株)(現(株)デンソー)入社。

ディーゼル噴射技術部にて独自の噴射ポンプを開発。ガソリン噴射事業部にて噴射ポンプ・スロットルを開発。機能品事業部品質リーダーとして設計業務改善に従事。製品開発、設計品質改善業務、品質マネジメントシステム内部監査等に従事し、設計品質の改善手法を得意としている。

【略歴】

1975年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社。

1975年 ディーゼル噴射技術部にて独自の高圧燃料噴射ポンプを開発。

1990年 ガソリン事業部にてガソリン燃料ポンプ・電子スロットルを開発。

2000年 機能品事業部品質リーダーとして設計業務改善に従事。

2005年 欧米自動車メーカー品質基準TS16949内部監査員を実施。

2008年 事業部設計品質改善で日科技連のデミング賞、
品質革新賞、受賞。

2010年 オールトヨタQTM大会にて優秀賞受賞。

2011年 品質管理学会より、著作JSQC選書

「FMEA辞書」を発刊。

2015年 (株)ワールドテックにて講師を務める。

2019年 「未然防止のための過去トラ集の

作り方・使い方」

日科技連出版社を発刊。

現在に至る



注意事項

- (1)原則、全ての研修に参加する者に限ります。
- (2)実地研修については、日程など変更となる可能性があります。詳細スケジュールにつきましては、申込者へ別途ご連絡いたします。
- (3)実地研修は、原則現地集合・解散となりますので、実費が発生いたします。
- (4)別途案内を予定している令和5年度EV構造研究活動への参加を推奨いたします。

お問合せ先

〒701-1221 岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山3階
公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課 担当：田口、入江、小森
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676
E-mail jidousya@optic.or.jp